

掃除車のダクト

実 願 昭 36-50024
出 願 日 昭 36. 10. 5
審 判 昭 38-379
考 案 者 斎田信幸
下松市大字東豊井字宮の洲鼻79
4株式会社日立製作所笠戸工場内
同 内海昭夫
同所
出 願 人 株式会社日立製作所
東京都千代田区丸の内1の4
代 表 者 駒井健一郎
代 理 人 弁理士 高橋明夫

図面の簡単な説明

第1図は掃除車のダクトの側面図、第2図は本案による掃除車のダクトの底面図である。

考案の詳細な説明

本案は掃除車のダクトに関するものである。

一般に掃除車は清掃装置と走行装置とから成っており、回転ブラシ等を用いない掃除車の清掃装置のダクト部分は第1図に示す如く二本に分岐された吐出ダクト1、2および吐出ダクト1、2に対向して配設された吸込ダクト3、4より形成されており、ファン（図示せず）より送り出された空気は吐出ダクト1、2の先端より被清掃面5に吹出されて被清掃面5上にある被清掃物を吹上げ吹上げられた被清掃物と共に吸込ダクト3、4より吸込まれ、分離機（図示せず）を経て再びファンに至り上述の循環作用を繰返すようになっている。このような清掃装置では被清掃物と共に吸込まれた空気を分離機を通した後再び被清掃物の吹

上げに利用できるため、清掃効率もよく特に大型の掃除車に適しているが、吐出ダクト1、2より吹出す空気が強すぎる場合には被清掃物が被清掃面より左右外方に飛散して清掃効率が低下する。

本案は吐出ダクトと吸込ダクトを対向して設けた掃除車の清掃装置において、吐出ダクトの先端に吐出ダクトの幅全体にわたって内方に向け適当な角度をもつて複数個の案内板を固着してなることを特徴とするもので、被清掃物の飛散を防止して清掃効率を向上させることを目的としたものである。

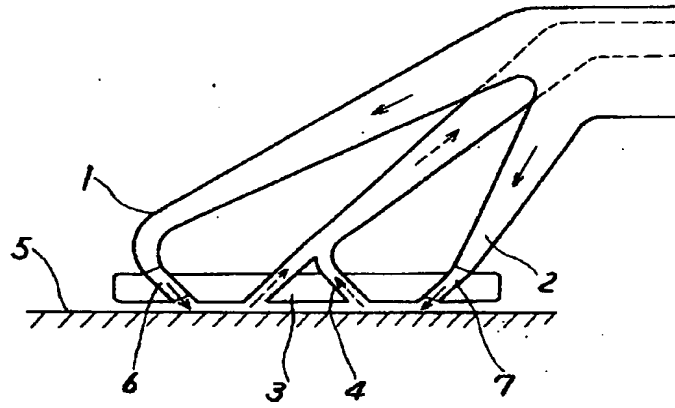
本案掃除車のダクトを第2図によつて説明すると、吐出ダクト1、2の先端に吐出ダクトの幅全体にわたって内方に向け適当な角度をもつて複数個の案内板6、7を固着し、吐出ダクト1、2の先端より吹出される空気の流れを内方に案内するようにしたものであつて、吐出ダクト1、2よりの吹出空気が強すぎる場合でも吹出空気の流れは案内板6、7により内方に案内されるため被清掃物の被清掃面左右外方への飛散は生じない。

本案は以上述べた如く吐出ダクトの先端に吐出ダクトの幅全体にわたって内方に向け適当な角度をもつて複数個の案内板を設けて吹出空気の流れを内方に案内するようにしたものであるから、吹出空気および被清掃物が外方へ飛散するのを防止することができ、かつダクト先端と掃除面間のシールを必要とせず、清掃効率を向上させることができる。

実用新案登録請求の範囲

吐出ダクトと吸込ダクトを対向して設けた掃除車の清掃装置において、吐出ダクトの先端に吐出ダクトの幅全体にわたって内方に向け適当な角度をもつて複数個の案内板を固着してなることを特徴とする掃除車のダクト。

第1図



第2図

